

令和4年度 すわこども園 自己評価・学校関係評価結果公表

学校評価委員会日時：令和5年2月28日（火）

場所：すわこども園 カフェ

【学校評価委員会検討事項】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等が適切かどうか
- ・こども園運営の改善に向けた取組が適切かどうか

1、重点項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性	・今年度から業務効率化のためのICTに積極的に取り組み、それに加えてLINEを活用するなどして、職員間での報告、連絡、相談を徹底の重要性を全体で再確認していた。 ・伝達等の漏れがないよう各自心がけクラスホワイトボード、掲示板の活用、口頭ではなく必ずメモ、記録に残すよう対策を立てた。
Ⅴ 地域の自然や社会とのかかわり	・昨年度環境教育が始まり、保育環境について考える機会を作っている。こども園の室内外の環境に配慮し、合わせて周りの自然環境について子どもたちに伝えるようになった。
Ⅵ 保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・研修に関しては内部・外部ともに充実している。また合わせて普段の保育中に出来る研修・研究が大切だと職員一人一人が意識しながら保育することができている。
Ⅷ 地域における子育て支援	・子育て支援事業の一環として病児保育事業、地域子育て支援拠点事業、放課後児童クラブ事業等様々な事業を実施している。 来園された方が心地良い場所であるように温かい雰囲気作りを心がけている。

2、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ol style="list-style-type: none">1. 保育目標、保育の基本方針をわかりやすく伝えている。2. 他の幼稚園・保育園にない独自の活動に取り組んでいる。3. 家庭との連携を適切に行っている。4. 子どもにとって、こども園は楽しい場所だと思う。5. 教育・保育方針に共感できる。6. 雰囲気がよく、こどもが生き生きとしている。7. 年間行事は活発である。8. 自分の生き方を考え、豊かな心を持ったこどもを育てようとしている。9. こどもに社会生活におけるモラルやルールを守る態度を育てようとしている。10. こどもに人権を尊重する意識を育てようとしている。11. 必要な保育時間は確保されている。
<p>Ⅱ 学校運営に関して</p> <ol style="list-style-type: none">12. 学校運営の方針を明らかにしている。13. こども園の施設・設備は、環境の面でほぼ満足できる。14. 事故の防止に配慮している。15. 保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。17. 子どもや保護者に関するプライバシーが守られている。18. 保護者と話をする機会を多く持っている。

<p>19. 保護者会活動は活発である。</p> <p>20.年間の行事について 年間行事についてはおおむね満足している。</p> <p>21.制服について 今後も検討課題としていく。</p> <p>22.今後の改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の保育参加は是非継続してほしい。おやじの会についても同様。 ・警報発令時の対応について、こどもや保護者に周知してほしい。 ・いいホームページがあるのでもっと周知してほしい。
--

3、園としての改善点

評価項目	具体的な取組状況
II 保育の在り方・ 3歳以上児への対応	・こどもアート展と行事が結びつかない現状も見受けられるので、行事と製作等がさらに結びつくよう見直し、活動が意欲的となるよう計画していきたい。そこで、デイリ-プログラム、行事の見直しを行った。来年度は管理運営計画を修正していく。
IV 保護者への対応・ 守秘義務	・保育の記録の大切さについて各保育者の自覚が育っている点は評価できるが、こども園としての記録事項及び保存期間の明確な基準づくりを来年度に向けて取り組みたい。
VI 保育の専門性に関する 研修・研究への意欲・ 態度	・研修に自己課題を持ち、積極的に取り組み、報告もできている。ただ行事等については変化があまりみられないため、見直しを行い、業務量と質の改善を図り、子どもの興味や関心の幅を広げていきたい。
IV 保育の在り方・ 3歳未満児への対応	・0、1歳児はより個別別的な対応が必要になるため、職員間での連携が必須である。来年度はさらに担当制保育を充実させていく。